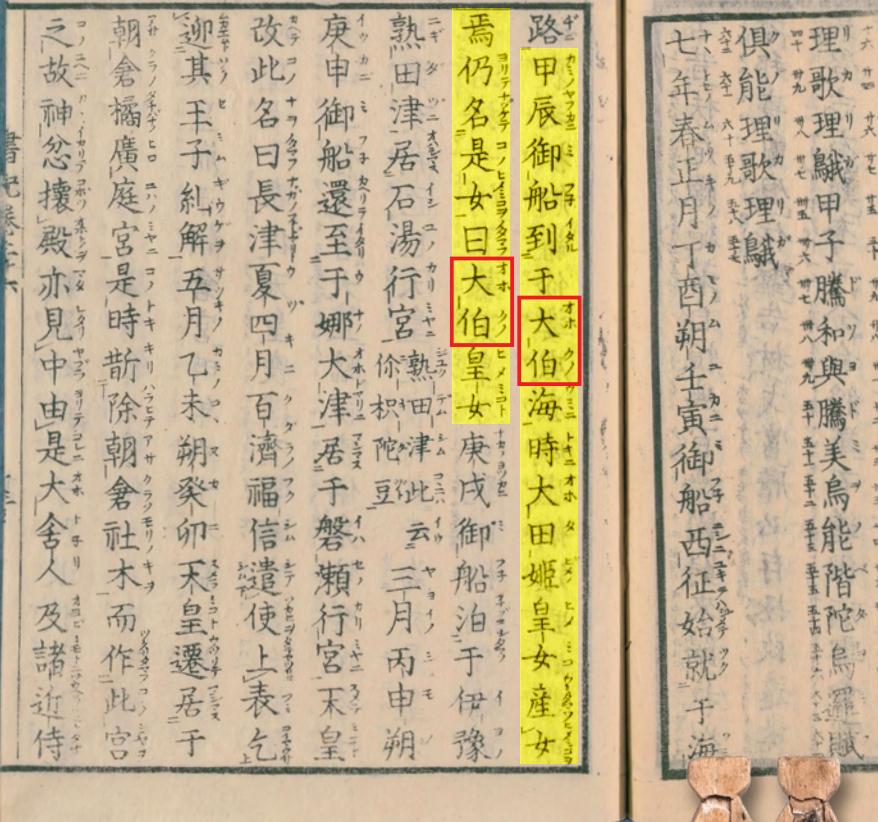


吉備・倭国と 古代の邑久

瀬戸内市歴史まちづくり財団

歴史講演会

古代の瀬戸内市は
呂古郡(古くは大伯)に含まれ、水陸交通
の要衝として重要な位置を占めていました。今回は、『古事記』や『日本書
紀』といった古代の歴史書、また木簡など発掘調査で出土する文字資料を
中心にみながら、古代の邑久郡が吉備と呼ばれた勢力の中で果たした役割、
また当時「倭国」と呼ばれた日本の中での役割について考えます。
写真:牛窓湾



『日本書紀』卷26 出典：国立国会図書館デジタルコレクション



藤原宮出土木簡
出典：木簡庫 (<https://mokkankan.nabunken.go.jp/ja/6AUAD30000128>)

平城宮出土木簡
出典：ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>)

令和8(2026)年

3月7日(土)

13:30~15:00(開場13:00)

ゆめトピア長船
2階 夢いっぱいホール

瀬戸内市長船町土師277番地4

定員◆400名(当日先着順) 参加費◆無料

主催 | 公益財団法人 瀬戸内市歴史まちづくり財団、瀬戸内市
後援 | 瀬戸内市教育委員会

手話通訳 要約筆記あり

問合せ先

公益財団法人 瀬戸内市歴史まちづくり財団

瀬戸内市牛窓町長浜5092

TEL 0869-24-7788 FAX 0869-24-7008



講師

ふる いち あきら

古市 晃 氏

神戸大学大学院人文学研究科 教授



略歴◆1970年岡山県生まれ。岡山大学文学部卒業、大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程退学。大阪市文化財協会、大阪歴史博物館、花園大学を経て、2009年より神戸大学准教授、2019年より現職。『邑久町史』の古代史を担当する。

専門◆日本古代史、古代国家形成論、地域社会論。近年では、日本列島に国家が成立する仕組みについて、地域社会と中央権力との関係を中心に検討している。

主な著書・論文◆『倭国 古代国家への道』(講談社現代新書、2021年)、『国家形成期の王宮と地域社会—記紀・風土記の再解釈—』(講書房、2019年)、『日本古代王権の支配論理』(講書房、2009年)など。

交通案内

[電車] JR赤穂線「長船駅」から徒歩約6分
[バス] 市営バス 長船北線 美和線
「ゆめトピア長船」下車すぐ
駐車場あり250台

